

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

NPO 法人ホスピタル・プレイ協会が開発する「メディカル・プレイ工作キット  
開発プロジェクト」の研究協力

1. 研究の対象

倫理委員会承認日～9月29日(土)までにメディカル・プレイ工作キットを製作した子どもとその家族

2. 研究目的・方法・研究期間

NPO 法人ホスピタル・プレイ協会が平成19年度より開始している、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(以下 HPS)養成講座に当センターチャイルドライフ担当保育士も同年より参加し、HPSの資格を取得して活動している。HPSとは、遊びを用いて子どもに優しい医療環境を整え、病児や障害児が医療との関わりや経験を肯定的に捉えられるようにするため、小児医療チームの一員として働く専門職である。現在当センターの保育士8名中6名がHPS資格を取得し、日々子どもや家族への手術や治療、検査の説明(プレイ・プレパレーション)や、検査や治療中の不安や痛みを軽減する取り組み(ディストラクション)を実施している。今回、NPO 法人ホスピタル・プレイ協会が新たな研究開発として、遊びを通じて医療と関わる子どもたちの不安や今日指針を軽減するために、組立式木製メディカル・プレイキットを開発した。本研究に当センターに通院、入院する子どもや家族にも使用してもらい、それらが子どもや家族と医療を繋ぐツールとして有効であるかを明らかにする。

【目的】

- ・子どもの想像遊びを促す
- ・プレイ・プレパレーション、処置(治療)後の振り返りの遊び
- ・子どもの気持ちの表出を援助する

【意義】

メディカル工作キットは、子ども自身や家族と一緒に組み立て、色を塗る、シールを貼るなどしてパーソナライズできる使用となっている。この開発により子どもが医療体験を肯定化できることが期待される。

【研究期間】

倫理委員会承認日～9月29日(土)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

データ収集方法として、観察および質問紙調査を行う。研究者が対象者の言動を観察し、記録する。メディカル工作キットを製作後に質問(別紙参照)を聴取する等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 診療支援部 診療支援室 チャイルドライフ担当 担当者名 池田 祐子

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究責任者：上記で研究責任者

公開日 2019年 倫理委員会承認日

-----以上